

令和7年度鹿角キャンパス構想における大学研究の受入

◆受入大学と研究概要

大学	期間	研究テーマ	研究概要	担当教員	学生数	成果報告会
武蔵野大学	8/3(日) ～8/12(火)	若者たちのGOOD・PLACE ～中高生と考える“わくわくが生まれる”居場所づくり～ (かづの未来アカデミー共同開催)	自宅や学校以外で、人々が自由に交流しリラックスできる「サードプレイス」は、幸福感を高める場として注目されている。若者の流出が進む鹿角市では、将来に希望を持ち、社会とつながりながら生き生きと過ごせる新たな居場所「GOOD・PLACE」が求められており、今年度から3年間、中高生への調査や社会実験を通じて、その在り方を探っていく。	教養教育部会 小暮真人 客員教授	大学生8人 中高生7人 内訳： 鹿角高3年 4人 鹿角高2年 1人 鹿角高1年 1人 八幡平中2年 1人	8/10(日) 14:00～ まちなか オフィス
	8/12(火) ～8/28(木)	かづのDMO体験プロジェクト ～世界遺産のまち・鹿角で「住んでよし」・「訪れてよし」の観光地域づくりを実践～	地域DMOの拠点施設「道の駅かづの あんたらあ」や市内の宿泊施設で、インターンシップやマーケティング調査を通じて、「稼ぐ観光」を目指す鹿角の取組を学ぶ。また、世界文化遺産「大湯環状列石」の視察や、ユネスコ無形文化遺産「花輪祭の屋台行事」の体験を通じて、歴史文化を守りながら観光需要を取り込むための振興策を、若者の視点から提案する。	経営学部 会計ガバナンス学科 佐藤正隆 講師	12人	8/27(水) 14:00～ まちなか オフィス
	9/1(月) ～9/10(水)	起業家の抱持ちで地域の魅力発見！ ～鹿角発、学生アイデアで企業と地域をもっと面白く～	関係人口の拡大に向け、市内事業者と連携し、ふるさと納税の新たな返礼品づくりに取り組むプログラムを実施する。大学生が事業者を訪問し、既存商品の魅力や課題をヒアリングし、若者の視点で地域資源を生かした商品を企画する。学生は事前に地域の特色や産品を学び、現地調査を経て、返礼品開発につながるアイデアをまとめて提案する。	経営学部 経営学科 姜雪潔 准教授	13人	9/9(火) 14:00～ まちなか オフィス
大正大学	9/29(月)～ 10/10(金)	若者にとって心の拠り所となるサードプレイスとは(仮題)	成年層の若者におけるサードプレイスの実態を調査し、回答事例から特徴を整理するとともに、交流のカギとなっているキーマンの掘り起こしを行う。(仮)	地域創生学部 公共政策学科 本田裕子 教授	4人	10/10(金)